

稲中生の「合言葉」 いつでも なんでも いっしょう懸命  
稲井中3つの「あ」 あいさつ あきらめない あいてのために



# 真野川

【第17号】

発行日  
平成28年11月29日  
石巻市立稲井中学校  
TEL 0225-91-2314  
FAX 0225-91-2315

## 2学期のまとめの時期です～師走です

「一日生きることは、一步、進むことでありたい。」とは、日本人初のノーベル物理学賞を受けた湯川秀樹博士の言葉です。この言葉は、市内のある中学校の図書室に掲額されていたものです。今はもう、震災の被害に遭い失われてしまったようですが、博士が実際にお書きになったものようでした。

この力強い言葉は、それを目にした多くの人々の心に、深く、そして鮮やかに宿り、日々の行動を振り返り明日への新たな意欲を湧き立たせる力になっています。

もうすぐ12月になります。この一年間の締めくくり、まとめをする時に、いったいどれだけの成長・進歩があったのか自問・自答する瞬間が必要です。図らずも成長・進歩が叶わなかったのはどうしてなのか。その原因を明らかにし、解決策を見出し、次への意欲をもって取り組むことができると叶うようになるものです。志あるところに道は開けるものです。

結果には必ず原因があります。今後どのような結果をみたいのか。5年後、10年後、20年後……に。そのためにこそ今何をすべきなのか。2学期の生活を振り返り、3学期の新たな生活への目標をもって一日一日を確実に前進してほしいものです。

12/1～7の間に三者面談を実施します。担任との話合いの中から、今後のよりよい生活に向けたヒントを持ち帰っていただければ幸いです。

## 生徒会執行部認証式！

17日（木）6校時に、生徒会執行部認証式を行いました。10月19日に実施した役員改選で選ばれた生徒会長を中心に新たな生徒会のスタートの日ともなりました。

創立70周年の節目の年になった今年、稲井中学校の新たな歴史の一步を刻むエンジンとして活躍することを期待します。

また、この認証式では、新専門委員長になった生徒の皆さんも紹介されました。

認証式の後には、9月以降の各種大会、コンクールで賞を受けた生徒の皆さんに賞状やメダルなどの伝達・披露式を行いました。その数は、85名を数えました。予定した時間を超えてしまうことにもなりましたが、その分、稲井中生徒の活躍振りを目の当たりにし、喜ばしい思いをいたしました。



生徒会長への認証状授与



生徒会執行部・新専門委員長

## 生徒会執行部員・新専門委員長(敬称省略)

会長	柳田大智	(2年)
副会長	本木悠登	(2年)
副会長	櫻井真歩	(1年)
事務長	武山暖	(2年)
幹事	三浦巧	(2年)
監事	岡茜里	(2年)
監事	岩井克樹	(1年)
会計	小野寺莉紗	(2年)
会計	本吉悠馬	(1年)
書記	佐藤ももか	(1年)
学級委員長	鈴木琉斗	(2年)
広報委員長	木村美月	(2年)
整美委員長	木村紘	(2年)
保健委員長	木村天音	(2年)
図書委員長	東條浩子	(2年)
給食委員長	遠藤信	(2年)
福祉委員長	菊池真央	(2年)



12月・1月上中旬行事等予定一覧

日	曜	記 事	日	曜	記 事
1	木	安全点検日 三者面談	26	月	冬季休業日
2	金	三者面談	27	火	
3	土		28	水	仕事納め
4	日		29	木	閉庁
5	月	三者面談	30	金	閉庁
6	火	三者面談	31	土	閉庁
7	水	三者面談	<b>1 月</b>		
8	木		1	日	元日
9	金	学力向上サポートプログラム	2	月	閉庁
10	土		3	火	閉庁
11	日		4	水	仕事始め
12	月	ピカカ大作戦 第2回調査書等作成委員会	5	木	
13	火	専門委員会 中央委員会	6	金	第4回調査書等作成委員会
14	水		7	土	
15	木		8	日	
16	金	授業参観日・学年PTA	9	月	成人の日
17	土		10	火	3学期始業式 新年書きぞめ大会(3・4校時) 第5回調査書等作成委員会
18	日		11	水	実力テスト(全学年) 専門委員会 中央委員会
19	月		12	木	
20	火	PTA本部役員会・70周年記念実行委員会	13	金	
21	水	職員会議	14	土	
22	木	2学期終業式 飲酒運転根絶運動の日 第3回調査書等作成委員会	15	日	
23	金	天皇誕生日	16	月	校内新年の抱負書きぞめコンクール展
24	土		17	火	
25	日		18	水	

**過日の創立70周年記念の各種行事には、保護者の皆様、地域の皆様の多大なご支援、ご協力をいただきありがとうございました。「記念式典」で、生徒代表の言葉を述べた前生徒会長清水凜音さんのお話の内容を紹介します。**

今年、私たちの母校稲井中学校は、創立70周年を迎えました。私は、この70年という節目の年に、豊かな自然に囲まれたこの学び舎で勉強や部活動に一生懸命取り組めること、また、たくさんのご来賓の皆様祝福されながらこのように盛大な式典をもつことができること、そして、稲井中学校の歴史と伝統を築いてこられた先輩方や先生方とお会いし、70年間の学び舎での思い出を語り合うことができるということを、心からうれしく思います。

今から70年前というと、私の祖父・祖母が生まれたばかりの頃で、とても長い年月であり、13～15歳の私たちには想像もできませんでした。そこで、今年70周年記念の文化祭で、3年生は「つなぐ～70年の軌跡～」というドキュメント映画を制作し、発表しました。70年前の稲井の様子について地域の方々にお話をお伺いし、当時の稲井を自分たちで調べ、稲井の歴史を振り返ることで、70年間積み重ねてきた歴史の重さを知ることができました。このような機会を与えてくださった先生方、インタビューにご協力くださった皆様に感謝したいと思います。

70周年を迎えた今、稲井中学校は更なる発展を目指し、常に一步前進、一段ステップアップを目指しながら活動に取り組んでいます。昔からの伝統である校内持久走大会や運動会、そして、先日も大成功を収めた文化祭等、どの行事も生徒が主体となり、計画・運営・後片付け、反省のまとめまで、一生懸命取り組むことができました。行事のみならず、部活動や生徒会活動に力を注ぐことができるのは、全て保護者の皆様や地域の方々の支えがあってこそです。稲井という地域が、自然だけではなく、優しい人々、私たち子どものために協力を惜しまない人々に恵まれているからだと思います。

私たちが、この稲井の伝統を引き継いでいくためにどうすればよいか、私なりに考えました。稲井中学校ができた70年前は、戦争が終わり、新しい日本に生まれ変わろうとしていた時代、先輩たちのご苦勞は想像以上だったろうと思います。そのときの思いが、「いつでも、なんでも、いっしょう懸命」の言葉になったのだと思います。そして今、東日本大震災を乗り越えて力強い石巻に生まれ変わろうとしている時代。この地域をなんとかしたい、石巻をなんとかしたいという心と、若いエネルギーをもった私たちだからこそできることが何かあるのではないかと思います。私たちは、70年前の開校当時に負けないくらいの力をもっています。ここ稲井の地で育ち、歴史ある稲井中学校で学んでいることに誇りを持ち、地域の皆様に感謝しながらこれからも前へ進んでいこうと思います。震災後、新たに加わった3つの「あ」、「あいさつ、あきらめない、あいてのために」の言葉を胸にしながら。

私たち稲井中生は、この学校で成長し、学んだたくさんの方の言葉を糧として、稲井の、石巻の未来を切り拓いていくことができる人間になれるよう努力し続けることをここにお誓いし、生徒代表の言葉とさせていただきます。

平成28年11月5日 生徒代表 平成28年度生徒会長 清水 凜音